

平成30年度第2回 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の概要

【日時】 2018年（平成30年）8月30日（木）10:00～正午

【場所】 逗子市役所5階第3会議室

【出席者（敬称略）】

＜メンバー＞福井座長、水口副座長、田中メンバー、桐ヶ谷メンバー、三宅メンバー

川俣メンバー代理：島由紀子氏、岡本メンバー、北村メンバー、

下境メンバー、大山メンバー、芳垣メンバー、須藤メンバー、山田メンバー

＜アドバイザー＞出石アドバイザー

【欠席者】 東メンバー

【事務局】 福本経営企画部次長、仁科企画課主幹、四宮専任主査、橋本主事（記録）

【傍聴者】 3人

【資料】 次第

資料1 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の意見等

1 開会

2 平成29年度実施事業に関する効果検証について【確認】

（1）逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○資料1について確認し、逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の意見として確定した。

○基本目標3、基本的方向2、具体的施策①の主な取り組み2「金融機関、商工会等と連携した事業承継の支援」について、会議の意見を踏まえ、2017年度の実施内容を記載し、最終報告することとした。

3 人口減少克服と地方創生に関する取り組みや課題について

（1）事例紹介

○次の取り組みについて、事例紹介があった。

- ・京浜急行電鉄株式会社「三浦半島事業開発部の取り組みについて」
- ・株式会社横浜銀行「三浦半島地域の10年後プロジェクトについて」
- ・湘南信用金庫「女性起業家が集うイベントについて」
- ・かながわ信用金庫「産学官の連携による取組事例～三浦半島地域活性化協議会～」
- ・逗子市商工会「三浦半島地域の経済団体による取組事例～三浦半島経済懇話会～」
- ・逗子市「三浦半島地域連携DMOの取り組みについて」
「JR東逗子駅前用地活用事業について」

(2) 意見交換

○次のような質疑、意見交換が行われた。

(出石アドバイザー) 関東学院大学では四市一町との包括協定を始め、神奈川県や横須賀市議会、商工会議所、信用金庫等、多くの連携協定を締結している。大学と協定を結ぶことにより、新たに様々な取り組みが可能となる。例えば、横須賀市では協定に基づき、学生の柔軟な発想やアイデアを活かした取り組みを行っている。逗子市とは協定を結んでいるにもかかわらず、具体的な取り組みが進んでいない。ぜひ学生をもっと活用していただきたい。

(桐ヶ谷メンバー) ㈱横浜銀行の説明の中で、人口減少による地域経済へのインパクトについて言及があったが、逗子市の民間消費の減少額がマイナス 48 億円ということにショックを受けた。

(田中メンバー) 人口減少克服と地方創生に関する取組みについてだが、財政が厳しい中で、何を重点的に取り組むか考えていくことが大切である。

(福井座長) 人口減少も進んでいるので、例えば、シティプロモーションサイトのリニューアルや広報大使の任命といった、お金をかけなくても、人口減少に歯止めがかけられるような取り組みにも力を入れている。

(出石アドバイザー) 「葉山女子旅きっぷ」が大変好評ということだが、そこに「逗子」という名前が入ってこない。逗子市にはポテンシャルがあると思っているが、なかなかその魅力が伝わっていない。

(川俣メンバー代理：島氏) 場所的には、逗子市には魅力がある。他市のような観光誘致や知名度向上のための施策はあるか。

(芳垣メンバー) 逗子市は他市に比べ、観光的な売りが弱い。例えば、横須賀市は軍港、三浦市はマグロといった売り出し方ができるが、逗子市にはそういったものがない。海も山もあるロケーションや、ファミリービーチとして逗子海岸を前面に出して一生懸命に取り組んでいる。海水浴客は昨年度に比べ増えているが、夏だけであるし、花火大会や NIGHTWAVE といったイベントも開催しているが、年間を通して逗子と言えばこれといったものがない。2020 年に向けてインバウンドを取り込みたいと思っているが、どのように進めていくか、今後の課題だと考えている。

(田中メンバー) やはり宿泊設備がないとお金が落ちない。2020 年のオリンピックに向けて、逗子マリーナなどを活用できないか。また、海岸は一年中使える場所である。イベント行事だけではなく、そういった視点でも考えてみてはいかがか。

(芳垣メンバー) 観光客がきても、通過されてしまうだけではメリットにならないので、消費につながるような仕組みを考えていきたい。

(出石アドバイザー) 逗子市は京急線で羽田空港と直結しているので、そこを上手く活用し、魅力を伝えていくと良い。横須賀市や三浦市は人口減少が著しいため、人口減少に対する危機感が強い。一方、逗子市は特に積極的な取り組みをしなくても、人口が流入して

いる。現状に満足するのも一つの戦略かもしれないが、行政がもっと図々しく大学や産業界、金融機関等と連携していくべきである。

また、SNSによる情報発信をさらに進めるべきで、従来の行政が発信する情報、コメントではなく、若者受けする魅力ある内容を発信していくと良い。葉山町でも冊子を作って配付している。

(岡本メンバー) 逗子海岸は逗子市にとって財産だと思うので、ぜひ活用していただきたい。

また、逗子市は他市に比べても創業者、起業したい人がとても多いと感じる。観光は鎌倉市や葉山町、住むなら逗子市と考えてもいいのではないかと感じた。

(大山メンバー) 賑わいとの関係で、以前リエラ逗子マリーナに高層ホテル建設の話があった。やはり国際会議ができるようなホテルがあると、人の流れが変わる材料になると思う。

また、「三浦半島地域連携DMOの取組みについて」でお話しのあった「三浦半島で暮らそう！」というイベント企画は素晴らしいと思った。関心を持っている人はたくさんいると思うので、このようなイベントを開催することは大事である。

(芳垣メンバー) 規模は小さいが、逗子マリーナで宿泊設備の計画が進んでいる。また、賑わいという観点では、小坪地域の活性化に向けて取り組みを進めており、今後の逗子の観光にも大きく影響すると考えている。

4 その他

今回の会議は来年7月頃を予定しており、改めて日程調整をさせていただく。

5 閉会